

平成21年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜
学力検査の結果

平成21年3月

神奈川県教育委員会教育局高校教育課

1 全県共通問題の出題のねらい

国語	<p>中学校までに学習する国語の内容について、文学的な文章、論理的な文章、古文などを素材として、基本的な国語の力を中心にみることを主なねらいとした。</p> <p>具体的には、文章全体の流れを理解しながら、登場人物の置かれた状況や心情を読み取る力、文の内容について考える力、主題や要旨を的確につかむ力、論点を明確にして文をまとめる力について、また、漢字を読む力と漢字の楷書を字形に配慮して書く力、語の照応に注意しながら文を書く力や文章やグラフから読み取った内容について思考する力などについて、基本から応用の段階に至るまでの国語の力を総合的にみることができるように出題した。</p>
社会	<p>中学校までに学習する社会の内容について、基本的な力を幅広くみることを主なねらいとし、地理的分野、歴史的分野、公民的分野のどの分野にも偏らないように出題した。</p> <p>具体的には、地理的分野では、緯度・経度、自然環境、生活・文化、都道府県等についての基本的な知識と、地形図や統計資料を読み取る力等を、歴史的分野では、原始・古代から近現代までの日本の歴史の大きな流れの中で、各時代の政治、経済、外交等に関する基本的な知識について、また、公民的分野では、日本の政治・経済や現代社会についての基本的な知識と、統計資料を読み取る力や文章から読み取った内容について思考し、それを表現する力等をみることができるように出題した。</p>
数学	<p>中学校までに学習する数学の内容について、計算の技能、事象を数理的に考察する力、数学的な見方や考え方など、基本的な数学の力を中心にみることを主なねらいとした。</p> <p>具体的には、数と式の計算技能、関数とそのグラフについての基本的な概念の理解、問題を正しく把握し確率の考え方を活用する力、規則性を見だし方程式を活用する力、図形の計量についての力、図形についての基本的な知識を活用する力及び論理的に表現する力をみることができるように出題した。</p>
理科	<p>中学校までに学習する理科の内容について、自然科学の基本的な知識と概念についての理解力を幅広くみることを主なねらいとし、第1分野、第2分野のどちらの分野にも偏らないように出題した。</p> <p>具体的には、観察や実験に関しては、観察・実験の手順及び得られた結果を多面的、総合的に考える力を、自然の事物・現象に関しては、基本的な知識を活用する力及び科学的な見方や考え方をみることができるように出題した。</p>
外国語 (英語)	<p>中学校で学習する英語の内容について、基本的な英語力と英語のコミュニケーション能力をみることを主なねらいとした。</p> <p>具体的には、音声による英語を理解する力、単語のつづり字や語法の理解度、日常生活の様々な場面で用いられる表現を理解する力、英文から情報を正確に読み取る力、英文を論理的に構成する力、まとまりのある文章の概要や要点を把握し、内容を理解する力について、基本的な力と応用的な力を総合的にみることができるように出題した。</p>

2 全県共通問題の合格者の教科別平均点（満点は50点）

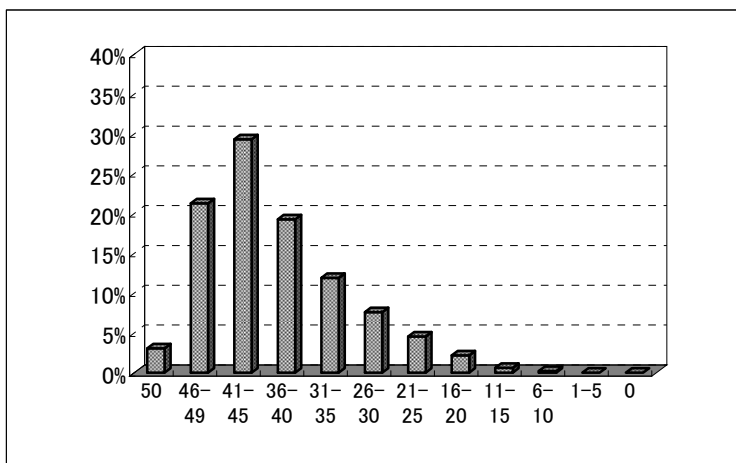
国語	社会	数学	理科	外国語 (英語)
39.2	30.9	32.2	33.5	36.7

3 独自問題の実施校別の合格者の教科別平均点（満点は50点）

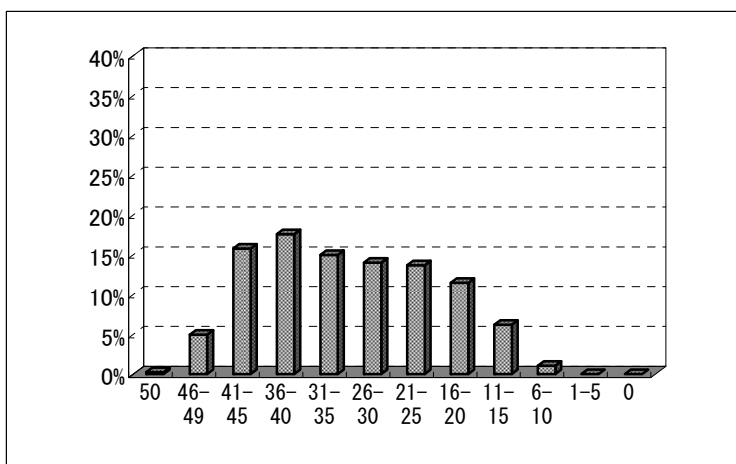
	国語	数学	外国語 (英語)
① 県立横浜翠嵐高等学校	39.5	29.3	37.2
② 県立平塚江南高等学校	38.2	33.1	34.6
③ 県立小田原高等学校	33.2	29.1	35.0
④ 県立湘南高等学校	30.2	40.0	42.9
⑤ 県立柏陽高等学校	35.9	31.7	40.9
⑥ 県立横須賀高等学校	35.0	37.0	35.8
⑦ 県立光陵高等学校	43.5	29.1	31.9
⑧ 県立多摩高等学校	34.8	36.5	37.3
⑨ 県立鎌倉高等学校		28.6	36.7
⑩ 県立横浜国際高等学校			38.6

4 21年度 全県共通問題の教科別得点分布

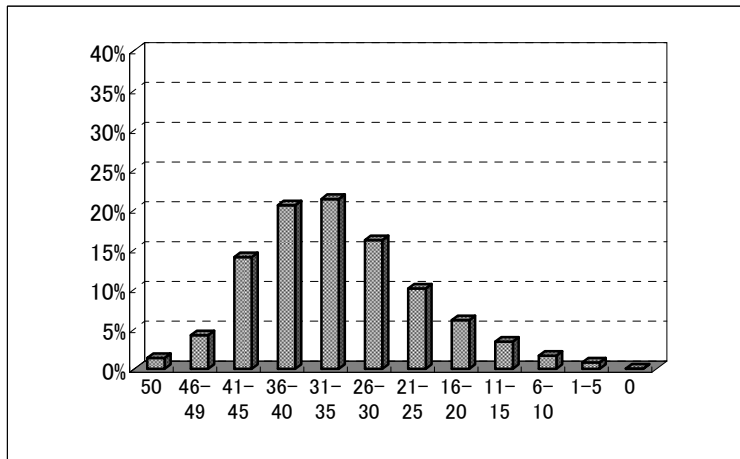
国語	
得点	割合
50	3.1%
46-49	21.3%
41-45	29.3%
36-40	19.3%
31-35	11.9%
26-30	7.6%
21-25	4.5%
16-20	2.2%
11-15	0.6%
6-10	0.2%
1-5	0.0%
0	0.0%



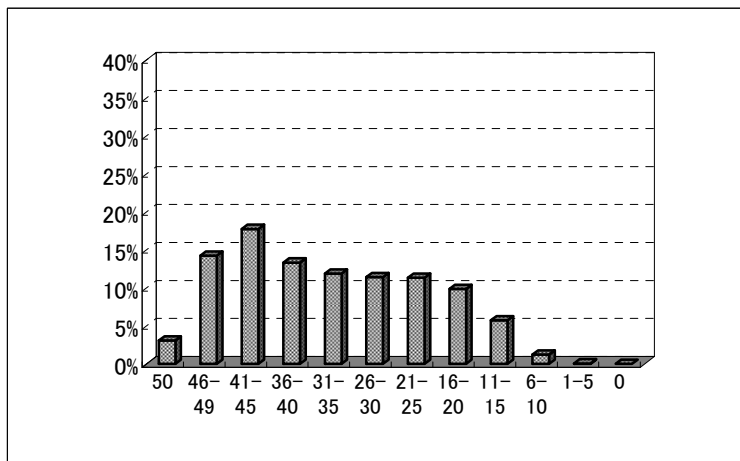
社会	
得点	割合
50	0.2%
46-49	5.0%
41-45	15.8%
36-40	17.6%
31-35	15.0%
26-30	14.0%
21-25	13.7%
16-20	11.5%
11-15	6.2%
6-10	1.1%
1-5	0.0%
0	0.0%



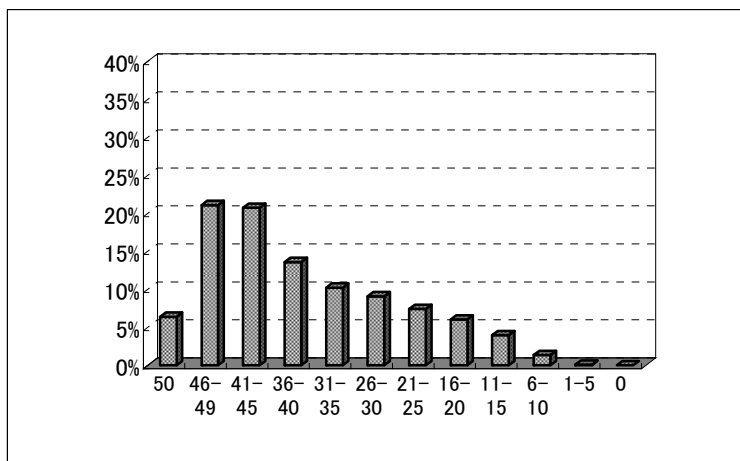
数 学	
得点	割合
50	1.4%
46-49	4.3%
41-45	14.0%
36-40	20.6%
31-35	21.3%
26-30	16.2%
21-25	10.1%
16-20	6.1%
11-15	3.4%
6-10	1.7%
1-5	0.8%
0	0.1%



理 科	
得点	割合
50	3.1%
46-49	14.2%
41-45	17.8%
36-40	13.3%
31-35	11.9%
26-30	11.4%
21-25	11.3%
16-20	9.9%
11-15	5.7%
6-10	1.2%
1-5	0.1%
0	0.0%



英 語	
得点	割合
50	6.4%
46-49	21.1%
41-45	20.7%
36-40	13.6%
31-35	10.2%
26-30	9.1%
21-25	7.4%
16-20	6.0%
11-15	4.0%
6-10	1.4%
1-5	0.1%
0	0.0%



5 全県共通問題の問題内容と正答率

国 語				
問	問題分野	問題内容	正答率	
一	ア	1 漢字の読み	把握（はあく）	97.3%
		2 漢字の読み	寸暇（すんか）	59.7%
		3 漢字の読み	秀逸（しゅういつ）	35.7%
		4 漢字の読み	敷（し）く	83.7%
	イ	1 漢字の書き	コウセキ（功績）	31.6%
		2 漢字の書き	テンジ（展示）	57.5%
		3 漢字の書き	キンロウ（勤労）	73.4%
		4 漢字の書き	サ（冷）めて	91.6%
	ウ	i 敬語	発表原稿の中の敬語の使い方が適切でないものを選択する	76.0%
		ii 文の照応	二文に分けた文の空欄に入れるのに最も適する語句を書く	63.4%
		iii 内容合致	発表の内容やグラフから読み取れる内容として適切でないものを選択する	81.5%
	二	ア	文学的な文章	空欄に入れる語句を選択する
イ		文学的な文章	「ミサ」の様子を説明したものを選択する	70.3%
ウ		文学的な文章	「ぎくりと身が縮んだ」理由を選択する	86.7%
エ		文学的な文章	朗読の仕方を選択する	80.9%
オ		文学的な文章	「へこんだ」を説明したものを選択する	87.8%
カ		文学的な文章	「マユミがふて腐れている」理由を「ミサ」はどのように考えているかを選択する	85.7%
キ		文学的な文章	この文章について述べたものを選択する	59.9%
三	ア	論理的な文章	空欄に入れる接続詞の正しい組み合わせを選択する	91.5%
	イ	論理的な文章	「原生林こと森の王者」と考えることを筆者が思い込みと言う理由を選択する	39.5%
	ウ	論理的な文章	「そうした負の遺産」の内容を選択する	81.0%
	エ	論理的な文章	「ヨーロッパの二次林は暮らしの中に生育している」の内容を選択する	82.8%
	オ	論理的な文章/作文	「いま、『森との共存』とか『森との共生』とかという言葉が躍っている」に込められた筆者の思いを選択する	76.5%
	カ	論理的な文章	人と森が共存するために必要なことを25字以上30字以内の条件作文で書く	49.5%
	キ	論理的な文章	人工林は乳牛飼育とどのような点が似ているか選択する	73.9%
	ク	論理的な文章	筆者が本文で述べている内容と合っていないものを選択する	47.7%
四	ア	古典（古文）	他と主語が異なるものを選択する	76.8%
	イ	古典（古文）	「妻子も不審に思ひ」の理由を選択する	88.5%
	ウ	古典（古文）	「水のゆゑ」の具体的な内容を選択する	87.4%
	エ	古典（古文）	「御礼を申さではあるべからず」の意味を選択する	81.3%
	オ	古典（古文）	本文の内容と一致するものを選択する	79.6%

実施結果の概要

現代文の文章を読み取る力をみる問題の正答率は高かったが、文章について述べたものや筆者が本文で述べている内容と合っていないものを選ぶ問題の正答率は低かった。漢字を書く問題の一部や筆者の考えをまとめる記述式の作文問題の正答率は低かった。また、古文を読み取る力をみる問題の正答率は概ね高かった。

社 会				
問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	i 地理	地球上の大陸の位置関係と緯度	34.3%
		ii 地理	都市の位置（ペキン）	40.1%
		iii 地理	世界の都市の位置関係と時差	62.4%
		iv 地理	世界の地形（新期造山帯の山脈）	52.9%
		v 地理	世界の気候（温帯の気候）・用語記述（「西岸海洋性気候」）	3.0%
	イ	i 地理	世界の自然環境や生活・文化と農業	54.6%
	ii 地理	統計表の読み取り（原油の生産と経済発展）	54.7%	
2	ア	地理	北方領土の島の名称と位置	28.3%
	イ	地理	日本の農業（都道府県別の農業生産）	87.1%
	ウ	歴史	北海道の先住民・用語記述（「アイヌ」）	83.2%
	エ	地理	地図上の距離・面積と実際の距離・面積	71.0%
	オ	歴史・公民	日本の環境問題	24.4%
	カ	地理	日本の都市問題	73.3%
	キ	地理	近畿地方の県と県庁のある市の名称	66.7%
	ク	地理	地形図の読み取り	48.4%
3	ア	歴史	弥生時代のできごと（対外関係）	71.0%
	イ	歴史	奈良時代のできごと	65.8%
	ウ	歴史	奈良時代のできごと（宗教関係）	58.8%
	エ	歴史	鎌倉時代の前後のできごと	42.3%
	オ	歴史	国風文化について	47.8%
	カ	歴史	13世紀後半の日本の様子・用語記述（「徳政令」）	56.8%
	キ	歴史	江戸時代の人々の生活や文化	49.2%
	ク	歴史	江戸時代の大名について	74.0%
4	ア	歴史	幕末に開港した函館の位置と開港後の横浜の様子	64.2%
	イ	歴史	条約改正の過程と関連するできごと	38.6%
	ウ	歴史	昭和の初期のできごと	47.3%
	エ	歴史	21か条の要求と日中平和友好条約	36.4%
	オ	歴史	日独伊三国同盟の相手国	58.7%
	カ	歴史	戦後の周辺諸国のできごと	34.7%
5	ア	公民	天皇の国事行為	41.2%
	イ	公民	日本国憲法で規定している社会権	44.1%
	ウ	公民	内閣の権限と内閣総理大臣の選出	68.3%
	エ	公民	世界人権宣言	80.5%
	オ	i 公民	オンブズマン制度	81.0%
		ii 公民	地方自治について・用語記述（「民主主義」）	42.9%
	カ	公民	クーリングオフの契約解除通知	90.1%
	キ	公民	UNICEF（ユニセフ）の活動	95.0%
ク	公民	日本銀行の役割・文章記述	41.7%	
6	ア	公民	需要と供給の関係（グラフの読み取り）	50.9%
	イ	公民	衆議院と参議院のしくみと権限	56.0%
	ウ	公民	日本の社会保障（表と説明文の内容の読み取り）	62.8%
	エ	公民	日本の財政（歳出のグラフの読み取り）	47.8%

実施結果の概要

地理、歴史、公民ともに、基本的な知識を直接的に問う問題の正答率は概ね高かった。一方、地理分野では、気候区の名称や北方領土の位置など、確実な知識を必要とする問題、歴史分野では、できごとの内容と変化を理解し、時代順に並べ替える問題、公民分野では、文章記述やグラフの読み取りなど、説明文や資料をもとに思考力等をみる問題では正答率が低かった。

数 学				
問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	基本的な計算問題	正の数・負の数 整数の和・差 (1年)	93.8%
	イ	基本的な計算問題	正の数・負の数 整数の積 (1年)	91.5%
	ウ	基本的な計算問題	正の数・負の数 分数の和・差 (1年)	91.0%
	エ	基本的な計算問題	式の計算 単項式の除法 (2年)	94.4%
	オ	基本的な計算問題	式の計算 多項式の和・差 (2年)	84.9%
	カ	基本的な計算問題	式の計算 平方根の計算 (3年)	87.6%
	キ	基本的な計算問題	式の計算 式の展開 (3年)	80.5%
2	ア	標準的な計算問題	式の計算 因数分解 (3年)	92.3%
	イ	標準的な計算問題	2次方程式 (3年)	86.2%
	ウ	標準的な計算問題	関数の y の変域 (3年)	68.5%
	エ	標準的な計算問題	平方根 (3年)	62.5%
	オ	平面図形	おうぎ形 (1年) 中心角と円周角 (2年)	14.1%
3	ア	2乗に比例する関数	通る点とグラフ (3年)	68.7%
	イ	2乗に比例する関数	2点を通る直線の式 (2年)	59.8%
	ウ	2乗に比例する関数	2つの直線の交点(2年) 線分の長さの比(2年)	38.8%
4	ア	確率	確率の求め方 (2年)	73.7%
	イ	確率	確率の求め方 (2年)	56.0%
5	ア	2次方程式	2次方程式の応用 (3年)	70.3%
	イ	2次方程式	2次方程式の応用 (3年)	34.7%
6	ア	空間図形	展開図 三角柱の体積 (1年)	28.0%
	イ	空間図形	展開図 (1年) 三平方の定理 (3年)	11.4%
7	ア	平面図形	三角形の合同の証明 (2年)	44.2%
	イ	平面図形	二等辺三角形の性質 (2年)	8.4%

実施結果の概要

基本的な計算力を問う問題や因数分解、2次方程式の問題は正答率が高かった。一方、主に数学的な見方や考え方をみる図形の問題の正答率は低かった。特に、展開図を組み立てて作る三角柱について考察する問題の正答率は低かった。

理 科				
問		問題分野	問題内容	正答率
1	ア	第1分野 (物理)	物体が及ぼす圧力について	33.6%
	イ	第1分野 (物理)	鏡で反射する光の様子について	52.8%
	ウ	第1分野 (物理)	電流と電圧の関係について	57.2%
2	ア	第1分野 (化学)	新しいエネルギー資源、エネルギー資源の新しい利用について	62.8%
	イ	第1分野 (化学)	発生する気体について	60.8%
	ウ	第1分野 (化学)	溶液の温度変化による固体の析出について	56.1%
3	ア	第2分野 (生物)	植物の分類について	62.4%
	イ	第2分野 (生物)	有性生殖・無性生殖の特徴について	37.0%
	ウ	第2分野 (生物)	土の中の微生物のはたらきについて	60.5%
4	ア	第2分野 (地学)	太陽の日周運動について	73.2%
	イ	第2分野 (地学)	湿度の求め方	51.0%
	ウ	第2分野 (地学)	初期微動継続時間の予測について	66.1%
5	ア	第1分野 (物理)	重力の向きについて	69.5%
	イ	第1分野 (物理)	グラフから読み取れることについて	92.7%
	ウ	第1分野 (物理)	速さの求め方	61.4%
	エ	第1分野 (物理)	斜面の傾きが大きくなった場合の予想される結果について	62.9%
6	ア	第1分野 (化学)	グラフから読み取れることについて	83.7%
	イ	第1分野 (化学)	銅と酸素の反応についての化学反応式	60.5%
	ウ	第1分野 (化学)	グラフを読み取り、そこから分かる考察について	38.0%
	エ	第1分野 (化学)	仮説を立て、予想される結果について	56.1%
7	ア	第2分野 (生物)	ほ乳類、魚類の特徴について	63.9%
	イ	第2分野 (生物)	動物の分類について	84.4%
	ウ	第2分野 (生物)	ヘモグロビンのはたらきについて	69.9%
	エ	第2分野 (生物)	神経系の名称を記す (「せきずい」)	66.7%
8	ア	第2分野 (地学)	観察に使われる器具について	23.0%
	イ	第2分野 (地学)	鉱物の名称とマグマの性質について	50.1%
	ウ	第2分野 (地学)	化石の名称を記す (「示相化石」)	64.1%
	エ	第2分野 (地学)	地層のでき方の根拠について	51.3%

実施結果の概要

基本的な知識を問う問題や、実験結果から読み取ることができるものを選ぶ問題の正答率は高かった。一方、基本的な知識を身の回りにあるものに置き換えて考察する問題や、実験結果のグラフから読み取ったことについて考察する力をみる問題の正答率は低かった。また、基本的な用語や化学反応式を記述させる問題の正答率は、概ね高かった。

英 語				
問	問題分野	問題内容	正答率	
1	ア	1 聞くこと	英語を聞いて表から必要な情報を読み取る	91.2%
		2 聞くこと	英語を聞いて表から必要な情報を読み取る	79.8%
		3 聞くこと	英語を聞いて表から必要な情報を読み取る	70.6%
	イ	1 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	77.0%
		2 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	59.5%
		3 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	84.9%
		4 聞くこと	相手の発言に適切に応答する	60.6%
	ウ	1 聞くこと	対話の内容を正しく理解する	43.6%
		2 聞くこと	対話の内容を正しく理解する	57.9%
3 聞くこと		対話の内容を正しく理解する	70.1%	
2	ア	書くこと	単語を文脈に応じて正しく書く（「came」）	77.4%
	イ	書くこと	単語を文脈に応じて正しく書く（「country」）	69.5%
	ウ	書くこと	単語を文脈に応じて正しく書く（「little」）	56.8%
	エ	書くこと	単語を文脈に応じて正しく書く（「example」）	55.3%
3	ア	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る	51.3%
	イ	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る	71.4%
	ウ	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る	82.0%
	エ	読むこと・書くこと	空所を補充して正しい英文を作る	81.0%
4	ア	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	68.4%
	イ	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	72.5%
	ウ	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	50.7%
	エ	読むこと・書くこと	対話の流れを理解して単語を正しく並べる	76.1%
5	ア	読むこと	地図を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	85.3%
	イ	読むこと	地図を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	83.9%
	ウ	読むこと	地図を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	86.8%
	エ	読むこと	地図を参考に会話の流れを理解して空所を正しく補う	66.1%
6	ア	読むこと	英文を理解してグラフを正しく読み取る	75.2%
	イ	読むこと	英文を理解して状況を読み取る	69.8%
	ウ	読むこと	英文を理解して状況を読み取る	48.9%
	エ	読むこと	英文を理解して状況を読み取る	61.4%
	オ	読むこと	文脈を理解し三つの文を正しく並べる	64.4%
7	ア	読むこと	長文の概要を把握する	80.6%
	イ	読むこと	長文の概要を把握する	31.8%
	ウ	読むこと	長文の概要を把握する	73.8%
	エ	読むこと	長文の概要を把握する	67.4%
	オ	読むこと・書くこと	長文の概要を把握して関連する英文の空所に適切な単語を補充する	49.7%

実施結果の概要

「読むこと」「聞くこと」についての基本的な問題の正答率は高かった。一方、単語を文脈に応じて正しく書く問題の正答率は低かった。また、空所を補充して正しい英文を作る問題、対話の流れを理解し単語を正しく並べる問題、英文を理解し状況を読み取る問題、長文の内容を把握する問題に正答率の低いものがあった。